※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	（学）国際社会	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDGｓ(持続可能な開発目標)をとおして、国際社会にはどのような課題があるか、その課題を解決するためにはどのような解決策があるか学びます。SDGｓ17のゴールの中の、特に貧国、人権、気候変動(環境)、平和について、動画やインターネットを使って“自分ゴト”して考え探究し、そのゴールを達成するために、何ができるか具体的に考え、レポートやスライドを作成し、プレゼンテーション（発表）します。

2　学習の到達目標

(1)現代の国際社会が抱える様々な課題について、本や新聞記事やニュースなどを通じて自分で調べ理解することができる。
(2)その課題を自分ゴトとして考え、解決方法を探り、解決策を提案できる。
(3)解決策をレポートやスライドにまとめ、プレゼンテーション（発表）できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：SDGｓ（持続可能な開発目標）17のゴールを通して、基本的な事実、とそこから発生する諸課題について、公正な判断に基づいて理解し、その知識を身につけるようにする。 技能：国際社会の課題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現代の国際社会が直面している喫緊の課題について、世界的な視点で捉え、探究し、自分ゴトとして考える力を養う。多様性と包摂性ある社会実現のための解決策を考え、効果的に他者に情報を伝える力を身につけるようにする。	国際社会の課題について、主体的に考え、よりよい社会の実現をめざし、ゴールにむかって具体的に行動できる力を養う。また、ゴール達成にむけて、他者と連帯、協働する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
四月(十月)～五月(十一月) 六月(十二月)～九月(二月)	SDGs	SDGｓ(持続可能な開発目標)をとおして、国際社会にはどのような課題があるか、その課題を解決するためにはどのような解決策があるか学習する。	a:SDGS17のゴールについてそれが誕生した国際的背景や１つ１つの課題について基本的な事実を公正に理解することができる。 b:その課題について自分で調べレポートにまとめ他者に伝えることができる。 c:課題を自分ゴトとしてとらえ、解決するための方法を主体的に考え行動しようとする態度がみられる。	単元テスト 授業プリント	考察 課題・レポート	ふり返りシート 授業態度
	解決策を考え行動する	特に関心のある国際社会の課題を選び、探究テーマを決め、課題解決のための具体的な方法を考え、情報をデザインして共有する。	a:特に関心のある課題を選び、その課題について、今までの取り組みを調べ、考察し、公正に理解することができる。 b:選んだテーマについて、探究し、未来を考察し具体的な解決方法を考え、表現し、他者へ伝えることができる c:自分の考えを他者と共有し、主体的に行動を起こそうとする態度がみられる。	考察 課題	レポート・プレゼンテーション	ふり返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度